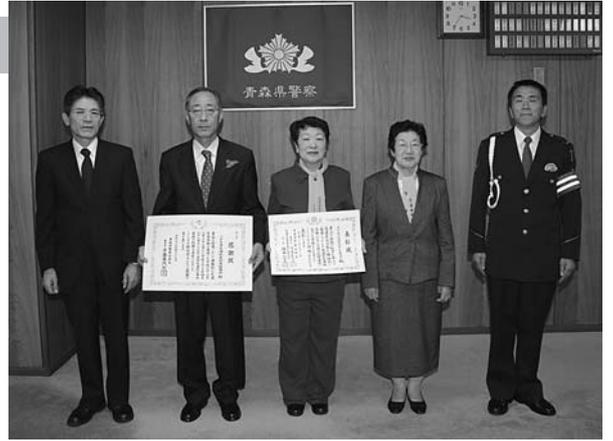


交通事故死ゼロ250日達成

市は4月28日をもって交通死亡事故皆無250日を達成し、つがる市交通安全対策協議会（会長・福島市長）とつがる市交通安全母の会連合会（花岡トキ会長）が5月11日、青森県警察本部において表彰を受けました。

表彰式では、寺島喜代次本部長が福島市長に感謝状を、花岡会長に表彰状を手渡し、「250日はすごいこと。今後も期待しています」と激励しました。福島市長は「関係機関の協力により達成できたものであり、市全体の取り組み課題として交通死亡事故ゼロ500日を目指したい」と話し、花岡会長も「いろいろな団体と連携して交通安全活動に取り組んでいきたい」と抱負を語りました。



左から寺島本部長、福島市長、花岡会長



交通安全誓いの言葉を発表する柴田子供交通指導隊

交通安全への決意新たに

春の全国交通安全運動（5月11日～20日）に伴い、つがる市交通安全事故防止総決起大会が5月11日、松の館で行われ、約200人が参加しました。

大会は、つがる地区交通安全協会と市交通安全母の会連合会が主催。つがる警察署長の鷹山誠署長が「各団体の地道な活動が交通事故抑止につながっている。今後も事故防止に励みましょう」とあいさつした後、館岡子供交通指導隊と柴田子供交通指導隊が「道路では遊びません」「交通ルールを守ります」と元気に誓いの言葉を発表しました。その後、行われたアトラクションでは青森県警察音楽隊による吹奏楽演奏などが披露され、大会を盛り上げていました。

品質の良い米づくりを

5月16日、福島市長はじめ県普及分室の職員や農協関係者らが柏地区の水田を巡回して田植え農家を励ました。

督促は品質の良い米作りを推進するため、毎年田植えの時期に行われています。この日、福島市長は成田薫さん、工藤勇治さんの水田を訪れ、田植えの作業状況を確認。「低温の影響で例年より田植え作業が遅れている」との報告を受けると、水管理、雑草防除のポイントをまとめたチラシを手渡し、「昨年は高温障害で悩まされたが、今年は良質で収量が上がることを願っています」と農家を激励していました。



成田さん親子から作業状況の報告を受ける福島市長



牧野内を伸び伸びと過ごす牛たち

黒毛和種牛の放牧始まる

富苑町の屏風山牧野で5月6日、黒毛和種肉用牛の放牧が始まりました。冬の間、牛舎で過ごした牛たちは、広さ約90ヘクタールの牧草地に放されると、青々と茂った草をはんだり、時折駆け回るなど元気な姿を見せていました。

牛の放牧は牛の体調を整え、雌牛に人工授精を行うことが目的で、放牧初日は11戸の畜産農家が83頭の雌牛と子牛を放牧しました。

人工授精は5月7日から始まり、放牧は11月中旬まで行われ、最盛期には約200頭の牛が放牧されます。



木造高校 4位入賞 全国高校生かるたグランプリ

「第6回全国高校生かるたグランプリinつがる市」が5月3、4日、松の館で行われ、「畳の上の格闘技」とも言われる静から動への一瞬の真剣勝負が繰り広げられました。

今年で6回目を迎えた大会には、地元木造高校、昨年の優勝校・静岡東高校に加え、京都、福井、千葉、埼玉、福島、岩手の各府県選抜の8チームが出場しました。各チーム5人による2日間の総当たりリーグ戦の結果、福井県選抜が初優勝を飾り、木造高校は惜しくも第4位の成績でした。部長の小野寺志穂さん（3年）は「優勝はできず悔しかったけど、多くのことを学びました。夏の全国大会では優勝目指してがんばります」と意気込みを語りました。



激しく札を取り合う選手たち



金ヶ崎VBC戦でスパイクを打つ川倉柊羽君
(稲垣少年クラブ)

稲垣少年V、稲垣ジュニア準V 北日本小学生バレー

東北各県からの強豪チームが参加した第26回北日本小学生バレーボール稲垣大会が5月15日、稲垣体育館を主会場に開催され、稲垣少年クラブが6年ぶりに優勝を果たしました。

今大会は東日本大震災の影響により、開催が約1カ月延期され、男子9チーム、女子12チームの参加。稲垣町バレーボール協会の岡本幸剛会長が「参加できなくなった東北各県の仲間たちの分も精一杯プレーしてください」とあいさつしました。男子の部は、稲垣少年クラブが決勝リーグ1勝1敗、セット率で優勝を手にし、女子の部は、稲垣ジュニアクラブが決勝戦で雫石排球団に惜しくも敗れ、準優勝の成績を収めました。

自然を満喫しながらウォーキング楽しむ

「2011つがる市おやこウォークin地球村」が5月1日、つがる地球村で開催され、市内外から親子連れやウォーキング団体など約800人が参加しました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、参加者たちは3キロ、6キロ、10キロ、15キロの4コースに分かれ、見ごろを迎えた桜や小雨にぬれる新緑の景色を満喫しながら、自分のペースで散策し、心地よい汗を流しました。

ウォーク終了後は、よさこい知求群会の演舞やむつ市出身のシンガーソングライター・マミーシノさんのライブ、お楽しみ抽選会などのイベントも行われ楽しい1日を過ごしました。



小雨の中、軽快な足取りで歩く参加者



佐々木さんから苗を受け取る児童

花を大切に育てて 市農業士会が花壇苗を贈呈

花を育てることを通じて「環境の美化」や「育てること」の大切さを学んでもらおうと、つがる市農業士会（松橋英樹会長）が市内8小学校に地元で生産された750鉢の苗を贈りました。

5月11日、柏小学校（猪股義仁校長）で行われた贈呈式には4年生44人が参加し、農業士会副会長の佐々木浩巳さんから児童代表に苗が手渡されると、神美優さんが「たくさんきれいな花をありがとうございます。大切に育てていきます」とお礼の言葉を述べました。その後、児童たちは正面玄関前の花壇に色鮮やかなマリーゴールド、ペチュニア、サルビアの苗を丁寧に植え付けていました。